

# 多発性骨髄腫 (再発・難治性) Kd療法 (OnceWeekly) (維持)

コース目

患者ID: @PATIENTID

患者氏名: @PATIENTNAME

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m <sup>2</sup> )
HEIGHT01_Dc	WEIGHT01_Dc	#VALUE!

性別 TIENTSEXN

年齢 @PAT 歳

投与スケジュール: 1コース: 28日間

使用薬剤: カルフィルゾミブ: カルフィルゾミブ 10mg/V、40mg/V  
デキサメタゾン (DEX): レナデックス錠4mg

注意: 適正使用ガイドに準じる

- ※ 体表面積が2.2m<sup>2</sup>を超える患者では、体表面積2.2m<sup>2</sup>として投与量を算出すること。
- ※ Ccrが15mL/分未満となった場合には、カルフィルゾミブを休薬すること。Ccrが15mL/分以上まで回復した場合には、投与の再開を検討すること。透析を要する場合には、再開時の用量として20mg/m<sup>2</sup>を超えないこととし、また透析後に投与すること。
- ※ カルフィルゾミブについて、1サイクル目の1日目のみ20mg/m<sup>2</sup>、それ以降は70mg/m<sup>2</sup>。
- ※ カルフィルゾミブ投与時は水分摂取に努めること。
- ※ 深部静脈血栓症又は肺塞栓症があらわれることがあるので、患者個人のリスクにあわせて必要であれば抗凝固療法、検査等を行うこと。
- ※ 骨髄抑制があらわれることがあるので、定期的に検査を行うこと。
- ※ 末梢神経障害が投与開始後早期にあらわれることがあるので、注意すること。

Cre値 (mg/dl)	計算上のCCr
	#VALUE!

投与量:

薬剤	投与量	計算値	投与量 (mg)	投与日
カルフィルゾミブ	70 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1, 8, 15
薬剤	投与量 (mg)	投与量 (mg)	投与日	
レナデックス錠	40mg		1, 8, 15, 22	

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day1, 8, 15	1月1日 (水)	1月8日 (水)	1月15日 (水)
	内服	レナデックス錠4mg	0錠 (カルフィルゾミブ投与の30分前に内服すること)
0時15分	① 生理食塩液 100mL + デキサート 3.3mg 30分で点滴静注		
0時30分	② 5%ブドウ糖液 100.0mL + カルフィルゾミブ 0.0mg + 注射用水100mL (溶解用) 30分で点滴静注		
1時00分	③ 生理食塩液 50mL フラッシュ		

Day22	1月22日 (水)
	内服
	レナデックス錠4mg
	0錠

## REFERENCE

Philippe Moreau, Maria-Victoria Mateos, James R Berenson, et al: Lancet Oncol 2018;19:953-64  
Once weekly versus twice weekly carfilzomib dosing in patients with relapsed and refractory multiple myeloma (A.R.R.O.W.): interim analysis results of a randomised, phase 3 study  
2020年2月度化学療法プロトコル審査委員会承認: 2020年2月10日